

hamlets

Hamlets ver.4.0

ハムレッツ Tama+project performance vol.20

予約・問合せ / tama_plus_project@ybb.ne.jp

2015年にスタートした「Hamlets/ハムレッツ」シリーズもおかげさまで3年目、5作目を迎えました。2011年3月から3年も経たないうちに東京で聞いた「3月11日って何の日だっけ?」ということばに突き動かされるように立ち上げてしまった企画。2012年から、いわき、南三陸、釜石、石巻(雄勝)とプレイバックで回りつづけ、被災した方たちのお話を演じていた時でした。あの3月、重く静まりかえった東京と何度か訪れた西の街の日常的な明るさとの「温度差」に、愕然としました。その「温度差」が、今、「被災地」たち、とその他の全国の街との間にある、と感じています。

災害の多いこの島国では「水に流す」ことで前を向いてきたことも事実。そして、「忘れてはいけないこと」もあるはずだし、ましてや「見て見ぬ振り」などあってはならない、と思うのです。

シェイクスピアの戯曲「ハムレット」には「あなたが今言いたいことばが見つかる」のだそうで。「水の方から娘のところに行くなんてあるわけない!」という台詞がありました。昨年から吉田優子さんの短歌が加わり「ハムレッツ」(「ハムレット」ではなく)の世界が深まっています。そして仙台の茅根利安さんの並々ならぬ思いがヒグマ春夫さんと出会い「Juliets」が生まれるなど、共同作業は様々な展開中。ぜひぜひ2017年の「3月11日」にお立ち会い下さいますよう、心よりお願い申し上げます。



井村 昂 (いむら こう)

1966年、名古屋で演劇活動開始。1971年、演劇センター68/71に参加。黒テントで全国120都市ツアー。退団後、東京黄昏団、トブリカクラブなど設立。プロデューサー、作・演出・出演と同時並行でTV、映画などでも俳優として活動。東京黄昏団「踊るおとうさん」に出演した天野天街と共同演出(作・出演も)。後に正式に少年王者館に参加。昨年は流山児事務所「キネマと怪人」天動虫「飛び火」などに客演。



茅根利安 (ちのね としやす)

仙台市在住。劇団1.Q150創立メンバー。全国各地で公演、後退団。1999年、宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年、東日本大震災からの心の復興を祈念し「ココロノキンセンアワー」を旗揚げ。宮城、山形、東京、韓国で公演。2014年アリスフェス特別賞受賞。Tama+ project「ハムレッツ」。「Project R vol.3-5」、ヒグマ春夫の映像インスタレーションとのコラボ、活動も多数。撮影：山口敦



原内真理 (はらうち まり)

舞台芸術学院を卒業後、大工原万里子さんの名前で舞台を中心に活動。2015年に在学中から師事していた大内三朗氏により「原内真理」と改名後もシアターのユージン・オニールのシリーズ「蜘蛛の巣」「無謀」、劇団企画(演出はいずれも大内三朗)、ソラカメなど舞台を中心に精力的に活動中。



橋本識帆 (はしもと しほ)

石巻市出身。ヒューマンアカデミー仙台校で茅根利安のもとで学んだ後、東京へ。2015年、Tama+project「Hamlets/ハムレッツ」ver.0-1で初舞台。爬虫類企画「ヴィランの沼に咲く」、ヒグマ春夫のバラダイムシフトのシリーズ、劇団ピンクメロンパン、果実の会など様々な舞台に出演。Project R vol.4「ノスタルギガントス2」では石巻市を含む東北ツアーにも参加。2016年、Tama+ projectに参加。撮影：山口敦



丹下 一 (たんげ まこと)

様々な国の歴史や文化を背景に「日本」のエッセンスを追求する現代演劇活動を続けている。2000年、プレイバックに参加。2004年から10年間、熊野天女座で「古事記」をベースにした「天女神楽」vol.1~10(台本演出・出演)。10年よりTama+projectを主宰。「Hamlets」ver.0-3、「Stones」、Project R vol.1-5、「Juliets, once upon a time?」ver.1-2など構成演出・出演。国内各地をはじめ海外での活動も多数。撮影：山口敦

March 2017

10日 金 19:30 開演

11日 土 15:00 開演

12日 日 15:00 開演

* 11日開演前、14:46に黙祷致します。
* 開場は開演の30分前を予定しています。



会場 ストアハウス江古田スタジオ5階
【西武池袋線 江古田駅南口前 / TEL03(5830)3944】

料金 3,000円

テキスト W シェイクスピア「ハムレット」
訳：江戸馨
吉田優子歌集「ヨコハマ・横浜」ほか

構成演出 丹下 一

出演 井村昂 (少年王者館)
茅根利安 (仙台：ココロノキンセンアワー)
原内真理 (劇団企画)
橋本識帆
丹下 一

映像 ヒグマ春夫 宣伝美術 秋山智子 (Design)
音楽 柴野さつき 記録 山口 敦
照明 早川誠司 協力 太田成美 板垣莉奈
制作協力 ココロノキンセンアワー

Special Thanks to STORE HOUSE



Video installation

ヒグマ春夫 (ひぐま はるお)
映像作家・美術家。'90年年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてNYに滞在、ビデオインスタレーションをリサーチする。以後、積極的に映像インスタレーションを組織し、個性豊かなアーティストとコラボレーションを行う。撮影：玉内公一